

総社市立秦小学校学校だより

令和4年度 第8号 令和4年7月5日(火)

☆ 学校行事の大切さ ☆

1学期最後の月、7月となりました。残り授業日もあと9日です。先月6月は大変多くの学校行事が行われ、子どもたちも多くのことを学んだ月でした。上旬には5・6年生が「海の学校」に出かけ、スローガン「秩序」「友情」「実践」のもと、力を合わせることの重要性や友達を思いやることの大切さを改めて学習しました。中旬には4年生が「ふるさと探訪」に出かけ、総社の良さや魅力を感じてきました。下旬には3年生が「校外学習」、そして2年生は「学区探検」と学校行事の目白押しでした。

この「学校行事」は、クラスで話し合いなどをする「学級活動」、縦割り活動や委員会活動などの「児童会活動」、年9回ほど行う「クラブ活動」と合わせて「特別活動」といわれています。「特別活動」で大切な要素は「実践的な活動」です。学級のみんなで話し合いで決めたからといっても、実行しなければ意味がありません。縦割り活動の計画を立てただけでは異学年と交流する良さは感じることはできません。



「実行することで学ぶ」ことが「特別活動」の大きな特徴です。

中でも「学校行事」での数々の体験は、他の学習では簡単に得られないもので、 ともすると単調になりがちな学校生活に変化を与えたり、リズムを作ったりしなが

ら、子どもたちの生活を生き生きとしたものにすることになります。友達と力を合わせて取り組むことで、満足感や充実感を味わうことにもつながります。「学校行事」にはとても大きな教育的意義と価値があるのです。

1学期の学校行事のそのほとんどが終わりましたが、2学期も多くの行事を計画しています。本番だけでなく、その過程において事前学習や練習、さらには終わったあとの振り返りや事後学習も含めて、それぞれの行事の価値を最大限に引き出せるよう、しっかりと準備をし、子どもたちに活かしていくことができるようにしたいと考えています。



うそをついたりごまかしたりしないで 生活していますか? ・あやまちは素値に認め、あやまります。

・あやまちは素直に認め、あやまります。・正置な気持ちで、みんなと楽しく生活します。

7月 品格教育目標